

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	清水 泰博
2. 研究課題名	膵頭十二指腸切除術後、膵液感染の臨床的意義に関する研究
3. 研究の目的・方法	膵頭十二指腸切除において、胆汁感染は術後の感染性合併症を増加させることが知られているが、膵液感染については、その頻度、臨床的意義が明らかではない。この点を明らかにすることにより周術期管理における感染対策を向上させる可能性が期待される。
	研究期間：平成31年3月28日から5年間 (遺伝子解析：行わない)
4. 研究の対象となる方	2014年1月1日から2017年10月31日までに当院で膵頭十二指腸切除術を受けた180例
5. 研究に用いる検体・情報の種類	検体名(なし)
	診療情報内容(培養結果、CT画像、血液検査結果、診療記録)

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当センターの倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。
個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

愛知県がんセンター 中央病院臨床試験部試験支援室
倫理審査委員会事務局
住所：〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
FAX：(052-764-2963)
e-mail: irb@aichi-cc.jp
(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)